

退職者連絡会

第40号
(発行・編集)
J R九州労組
退職者連絡会
鹿児島地区本部

吉松地区沿線新春交流会 県議選、参議選必勝に向け決意新た

去る一月二六日、十六時より恒例の吉松地区沿線居住者の新春交流会が吉松駅前前の「轟肉店」で開催されました。

当日は地元を含め沿線各地から十七名が参加、地元の久木元繁副会長の司会ではじまり、幹事会を代表して堅山正明会長が挨拶「皆様のご協力で会員の拡大も現在四〇〇名となった。今年には政治決戦の年。県議選、参議選の必勝に向けて現退一致して取り組む」と決意を述べました。

その後、来賓の野間たけし前衆議員、今回、勇退される向井県議の後任候補予定者「野呂正和」社民党県連副代表が挨拶し「アベ政権の進める改憲阻止と消費税増税に反対し、高齢者の生活を守るための、年金、医療、介護など社会保障の拡充のために強権政治阻止に向けて頑張る」と決意を述べました。その後、久木元繁副会長より組織の現状や、交運共済、年間行事のスケジュール等の説明がありました。なお、地元の橋元義嗣町議は、国



会への各種請願行動のため欠席となりました。宴は、前田正敏さん(元吉松運輸センター)の乾杯で始まり、焼

安心して暮らす福祉社会の実現と 県議選必勝等の運動方針を確認 鹿児島県定期総会

去る一月二九日、鹿児島県退職者団体連合第二十五回定期総会が鹿児島県労働金庫本店大ホールで開催されました。

当日は各加盟組織の代議員、役員、来賓ら八十名が出席。当連絡会からも五名が出席しました。

総会議長に馬場代議員(郵政退職者会)を選出。まず幹事会を代表して、二牟礼正博会長(自治労退)が挨拶「安倍首相は、改憲勢力が衆院、参院で3の2を獲得し、憲法9条の改悪を目

酎を酌み交わしながら和やかな雰囲気の下、来るべき県議選への必勝を誓い合い散会となりました。

論でいる。民意を無視した沖縄辺野古沿岸部への土砂投入を強行し、馬毛島へのFCLPの基地建设を推し進めている。いまや安倍一強政治は、権力と行政を私物化し、平和と民主主義の危機的状況を生み出している。反対安倍内閣を阻止するため、来る四月の県議選、七月の参院選を勝ち取らなくてはならない。また社会保障制度の切り捨てで低所得者、年金生活者は困窮している。安心して暮らせ



る社会実現を」と強く訴えられました。

来賓として、下町和三県連合会長はじめ、日本退職者連合中央本部の菅井義夫事務局長、福松節生幹事長(立憲)、「川内ひろし衆議員は国会開会のためメッセージを代読」、野間たけし前衆議員、伊地知紘徳幹事長(国民)、北森孝男代表(社民)、合原ちひろ参議予定候補、労金、全労済の各代表が次々と連帯と激励の挨拶。そのあと迫立泰行事務局長(JR九州労組退職者連絡会)が二〇一八年度経過報告

を行い、引き続き決算報告のあと承認。二〇一九年度活動方針案及び予算案が提起され、若干の質疑応答後、満場一致承認されました。役員改選では、一部役員の変更がありました。役員が、ほぼ現行役員が選任されました。

終了後、鹿児島県退職者団体連合結成二五周年記念レセプションがホテルパレスイン鹿児島で開催され、永年、県連連の活動にご尽力された役員の方々に記念品が贈呈されました。乾杯の後、懇談に入り、奄美三味線と太鼓による「ほこらしやの風」演奏等もあり、盛り上がりました。宴もたけなわ、二牟礼正博会長の県議選必勝を祈念し、力強い団結頑張ろう三唱でお開きとなりました。